

サーモシャワ混合栓

.....SB18-5U-TAB・SB18-5U1-TAB  
(寒冷地用・SB18C-5U-TAB・SB18C-5U1-TAB)

施工説明書

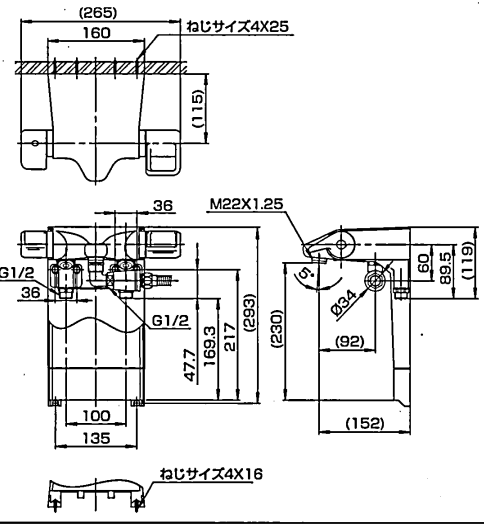
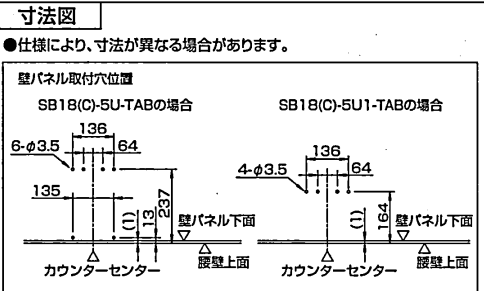
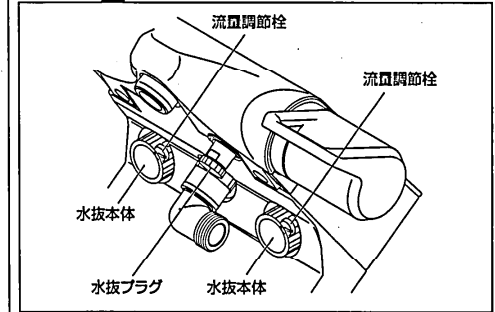
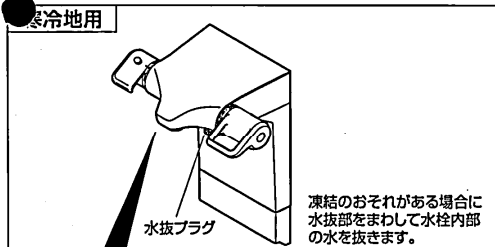
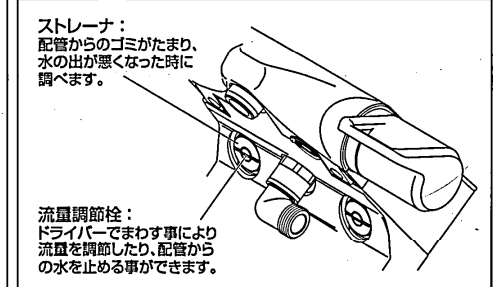
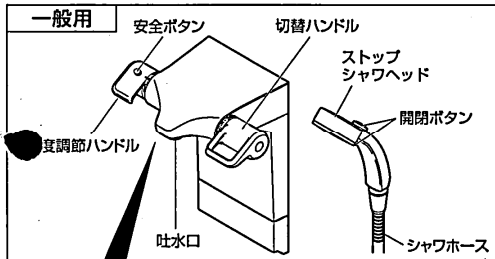
施工の前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

お客様へ  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ  
施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡ください。

本製品について 各部の名称・寸法図

本製品は、サーモスタートの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。



**施工について 施工に関する安全上のご注意**

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

**用語および記号の説明**

**警告** .....「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

**注意** .....「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

- .....「注意しなさい!」(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)
- .....「してはいけません!」(一般的な禁止記号です。)
- .....「分解してはいけません!」
- .....「指示した場所に触れてはいけません!」
- .....「指示通りにしなさい!」(一般的な行動指示記号です。)

**注意**

修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。  
故障や水漏れの原因になります。

**注意**

- ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナを締めずに、流量調整栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 湯水を逆に配管しないでください。正常に作動しないため、やけどをする事があります。
- 給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。85℃より高温でご使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。故障や水漏れの原因になります。
- 目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。
- (寒冷地用の場合) 凍結が予想される場所でご使用になる場合は「寒冷地用の水抜方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- (寒冷地用の場合) 水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜部をいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**施工について 適切な使用条件**

(水圧について)

給水・給湯圧力	最低必要水圧(流動時)	最高使用水圧(静止時)
	0.05MPa	0.75MPa

- 給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2~0.3MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするが、同圧になるようにしてください。
- 給湯圧力は必ず0.05MPa以上にしてください。

(給湯機について)

使用最高温度	85℃以下
--------	-------

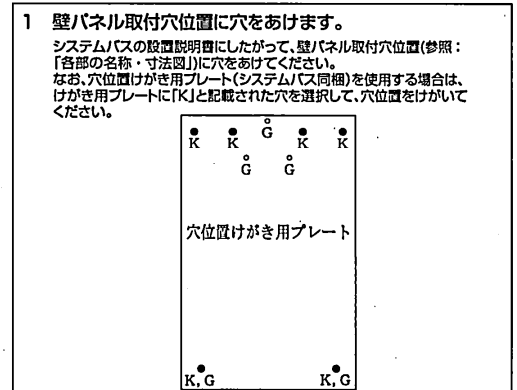
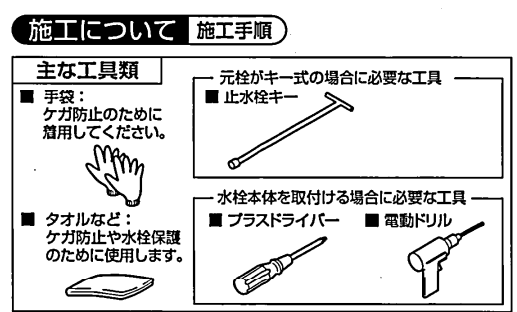
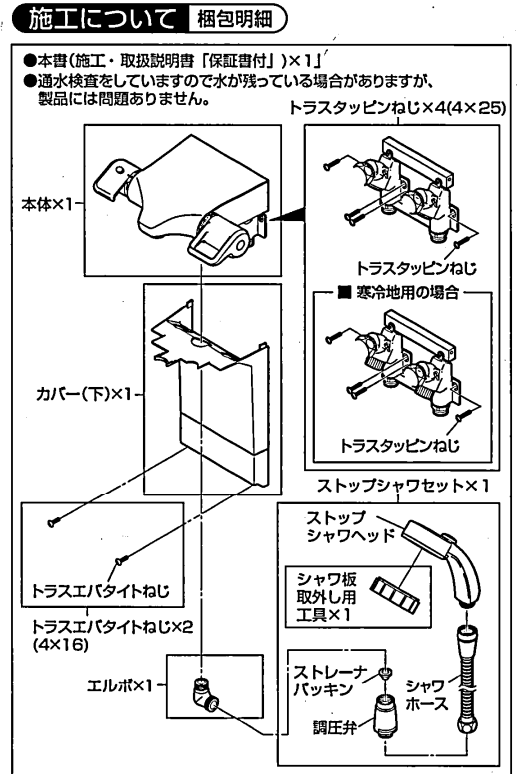
- 給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするために最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。
- 誤操作などによるやけど防止のため、50~60℃給湯をおすすめします。
- 給湯に蒸気を使用しないでください。
- シャワを使う際は、条件に適したガス瞬間式給湯機の号数(能力)が必要です。四季を通じて快適なシャワを得るために、給湯能力12号以上をおすすめします。
- 自動お湯はりなど一時止水機構を持った給湯設備を水栓の湯側配管に接続して使用した場合、自動お湯はりが終わっても水が若干出る事があります。これは、水栓の破損防止機構が働いているためです。このような場合は水栓のハンドル側で水を止めてください。

(水質・用途について)

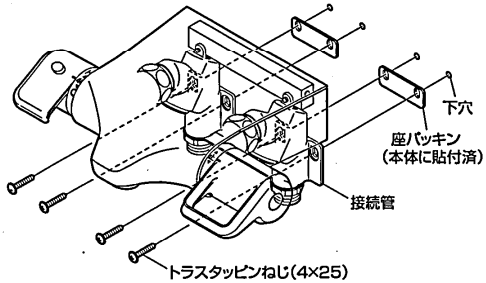
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
用途	一般住宅用

**施工について 施工前のご注意**

- 給水は、上水道に接続してください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。



- 2 水栓本体を取付けます。  
接続管を壁の下穴に合わせトラスタッピンねじ(4×25)で固定します。

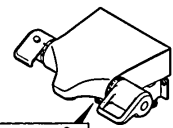


- 3 配管を接続します。  
システムバスの施工説明書を参照してください。

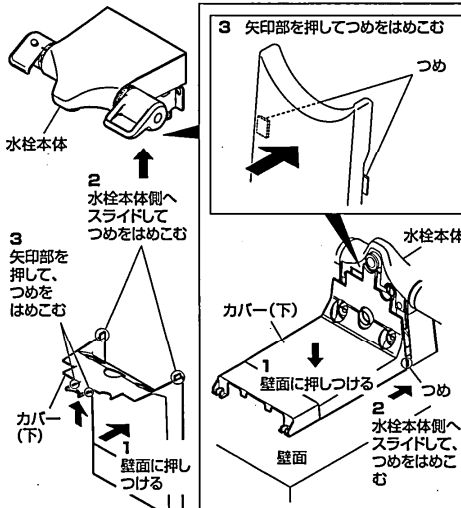
- 4 水栓本体にカバー(下)を取付けます。  
カバー(下)を壁面に押しつけ、上にスライドさせてトラスエバタイトねじ(4×16)で固定します。  
寒冷地用の場合は、カバー(下)を取付ける前に、水抜プラグを取りはずしてください。

■寒冷地用の場合

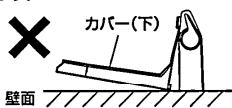
寒冷地用の場合は、カバー(下)を取付ける前に、水抜プラグを取りはずしてください。水抜プラグがカバー(下)にあたり、取付けできません。



カバー(下)を取付け後、水抜プラグを取付けてください。



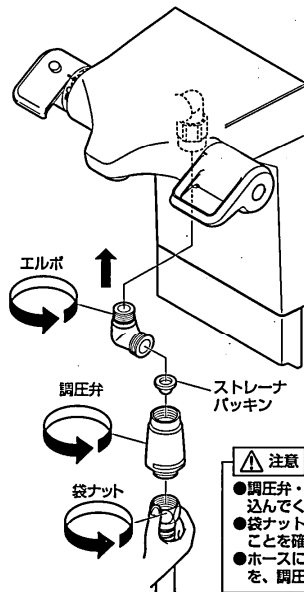
注意  
カバー(下)を取付ける際は、下図の様に丁寧に取付けねてください。器具が破損するおそれがあります。



- 5 ストップシャワセットを取付けます。  
(1) シャワエルボに調圧弁とシャワホースを取付けます。

注意

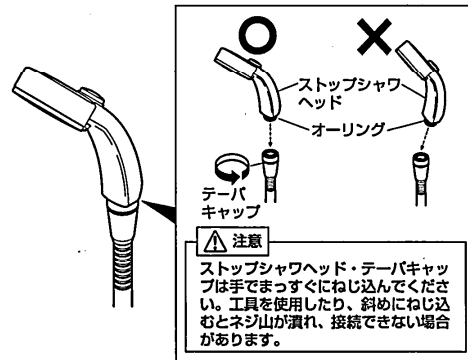
調圧弁は必ず取付けてください。  
調圧弁を取付けなかった場合、ホースが破損するおそれがあります。



注意

●調圧弁・袋ナットは手で強くねじ込んでください。  
●袋ナットにパッキンが入っていることを確認してください。  
●ホースにパッキンが入っている方を、調圧弁に取付けてください。

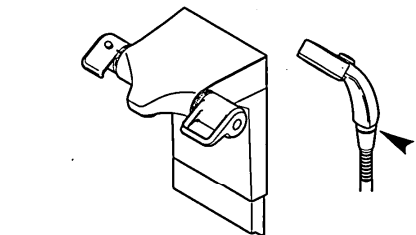
- (2) ストップシャワヘッドとシャワホースを取付けます。



注意

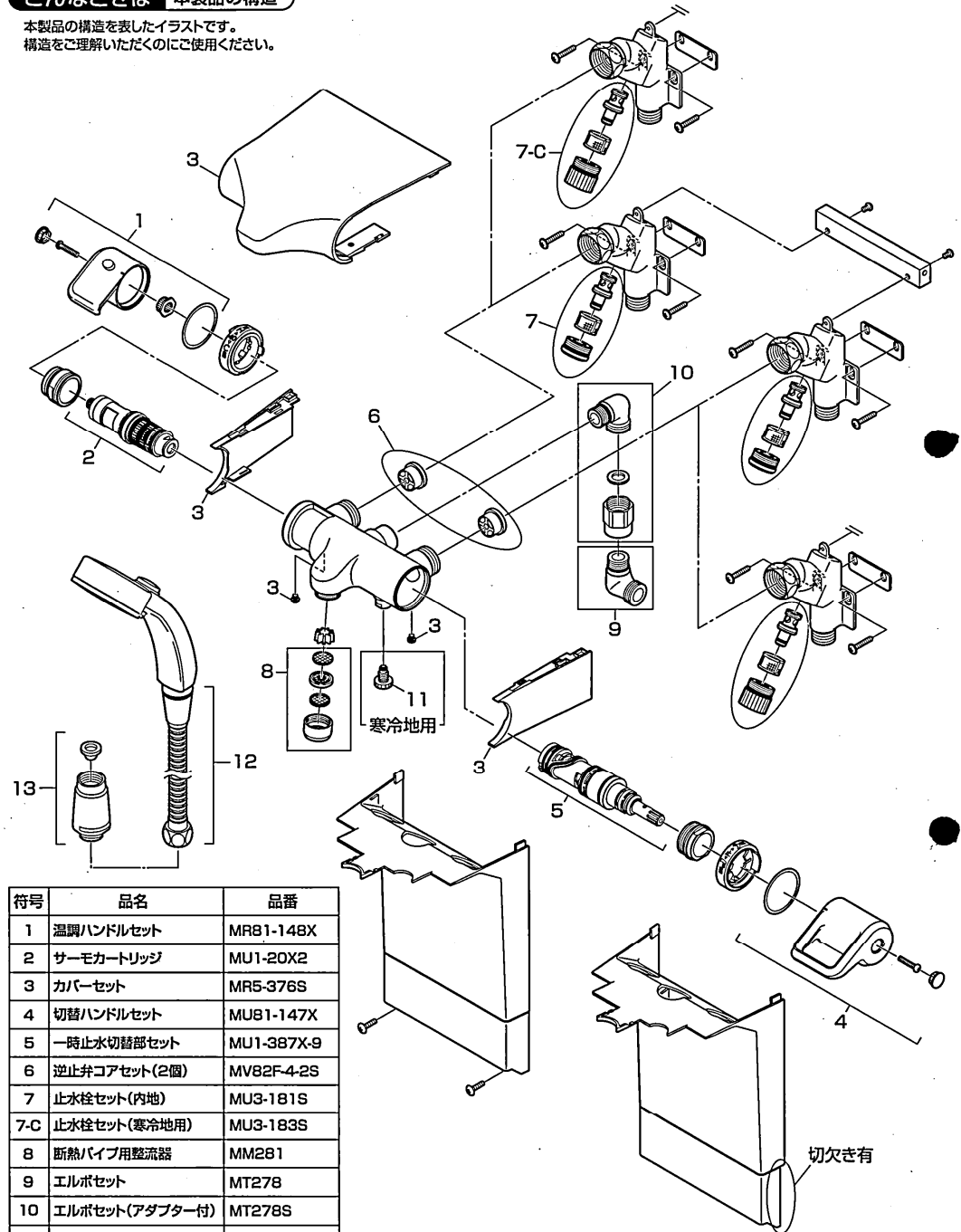
ストップシャワヘッド・テーパキャップは手でまっすぐにねじ込んでください。工具を使用したり、斜めにねじ込むとネジ山が潰れ、接続できない場合があります。

- 6 元栓を開いて水漏れをチェックします。  
接続後、各部に水漏れがないか必ず確認してください。水漏れがある場合は、もう一度はじめからやり直してください。



こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。  
構造をご理解いただくのにご使用ください。



符号	品名	品番
1	温水ハンドルセット	MR81-148X
2	サーモカートリッジ	MU1-20X2
3	カバーセット	MR5-376S
4	切替ハンドルセット	MU81-147X
5	一時止水切替部セット	MU1-387X-9
6	逆止弁コアセット(2個)	MV82F-4-2S
7	止水栓セット(内地)	MU3-181S
7-C	止水栓セット(寒冷地用)	MU3-183S
8	断熱パイプ用整流器	MM281
9	エルボセット	MT278
10	エルボセット(アダプター付)	MT278S
11	水抜プラグ	MB20K-89X
12	シャワホース	MS30-56TX
13	調圧弁セット	MV71F-SH

株式会社 三栄水栓製作所  
〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号  
TEL 大阪 (06)6976-8661  
TEL 東京 (03)3683-7496

SANEI  
サーモシャワ混合栓  
……SB18-5U-TAB・SB18-5U1-TAB  
(寒冷地用・SB18C-5U-TAB・SB18C-5U1-TAB)

ABA  
保証書付

取扱説明書

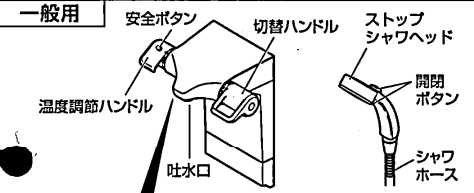
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

お客様へ  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

工事店様へ  
施工後、保証書に店名を記入し、お取付け年月日をご記入のうえ、この説明書をお客様へお渡しください。

本製品について 各部の名称

●本製品は、サーモスタットの働きで混合水の温度を一定に保つ混合栓です。

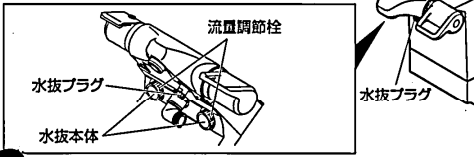


**ストレーナ:**  
配管からのゴミがたまり、水の出が悪くなった時に開けます。

**流量調節栓:**  
ドライバーでまわす事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。

寒冷地用

凍結のおそれがある場合に水抜部をまわして水栓内部の水を抜きます。



ご使用について ご使用に関する安全上のご注意

●ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

警告

小さいお子様だけのご使用は、避けてください。やけど、けがをすることがあります。

注意

使い始めの水がお湯の場合は、しばらく流してからお使いください。しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

製品に強い力や衝撃を与えたり、重いものを下げたりしないでください。故障や漏水の原因になります。

ストレーナの掃除をする際は、いきなりストレーナを緩めずに、流量調節栓または元栓を閉めてから行ってください。湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。器具が破損し、やけど、けがをしたり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

注意

凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。凍結破損で水漏れし、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●左側の流量調節栓には直接肌を触れないでください。給湯のため高温になっており、やけどをすることがあります。

●高温の湯をお使いのときは、吐水口に直接肌を触れないでください。

吐水口は高温になっているのでやけどをすることがあります。

(給湯器の設定温度について)  
給湯温度は最高85℃までお使いください。85℃以上でご使用になると器具の寿命が短くなります。なお、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃給湯をおすすめします。

シャワには高温の湯(60℃以上)を通さないでください。給湯温度が60℃以上の場合は、吐水温度が60℃以下になるように調節してください。シャワヘッドが破損して、やけどをするおそれがあります。安全のため、適温のご使用をおすすめします。

湯をお使いの後は、しばらく水を流してから止水してください。次に使用する際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

温度調節ハンドルの温度位置を確かめて吐水してください。高温の湯が出てやけどをすることがあります。

切替ハンドルは、ゆっくり回してください。切替ハンドルを急に閉めると、配管に衝撃が加わり、水漏れで家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

高温の湯をお使いの後は必ず温度を40℃以下に戻してください。次に使用する際、いきなり高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇し、やけどをすることがあります。

凍結した場合は温度調節ハンドルの目盛り「40」と吐水温度が揃っているか確認してください。凍結すると本体内部の部品が破損し、設定温度がずれてやけどをすることがあります。

解氷機やアースを水栓に通電しないでください。水栓が発熱で破損し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワをお使いになる前に、必ず手で適温であることを確かめてください。高温の湯が出てやけどをすることがあります。

お使いになる前に、吐水口側かシャワ側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。間違えると、やけどをすることがあります。

(樹脂メッキ付部品の場合)  
樹脂メッキ部品には、下記のことを行わないでください。

- 鋭利な物を当てる
- 衝撃を与える
- 落とす

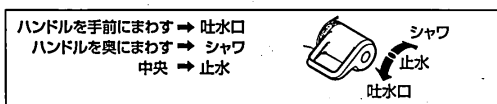
メッキの表面が割れ、ケガをするおそれがあります。万が一メッキの表面が割れた場合は、早めに新しい部品に交換してください。

シャワホースやシャワヘッドを洗面器などに漬けたまま放置しないでください。汚水が器具に逆流するおそれがあります。

(寒冷地用の場合)  
凍結が予想される際は、配管と水栓の水抜き操作を同時に行ってください。凍結破損で水漏れ、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

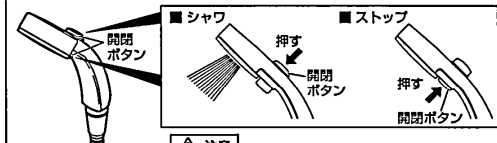
(寒冷地用の場合)  
水抜部は水抜き以外の目的で開けないでください。水抜きをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ご使用について 吐水・止水とシャワ側への切替え



ご使用について ストップシャワヘッドの使用法

一度調節した温度の湯がシャワヘッド側で一時的に止水できます。



ホース内部に圧力がかかるのを防ぐため、使用後は必ず、ストップシャワヘッドの開閉ボタンを開閉にして、水栓の切替ハンドルで止水してください。

止水後、シャワヘッドから水滴がしばらく落ちる事があります。これはシャワヘッド内の残留水であり、一定時間だけの現象であれば異常ではありません。水滴が落ちる要因は、落ちる位置によって異なります。下表を参照し、それぞれの現象に合った対処を行ってください。

水滴の落ちる位置	考えられる要因	対処
シャワヘッドの先端	使用後の水がシャワ散水板の表面張力により滞留しています。振動や浴室ドアの開閉による気圧の変化などにより表面張力が弱くなり、ボタボタと流れ出ることがあります。	シャワヘッドをよく振る
シャワヘッドの側面	シャワヘッドを浴槽や洗面器に浸けるなどすると、シャワヘッドの隙間から水が浸入することがあります。	シャワヘッドをよく振る

上記の対処を行っても直らない場合は、「故障? その前に」を参照ください。

ご使用について 温度調節

●給湯機(給湯リモコンなど)の給湯温度は、誤操作などによるやけど防止のため、50～60℃設定をおすすめします。給湯機の設定温度が優先されるため、設定温度が低いとサーモ機能が正常に作動しないおそれがあります。

※給湯温度を42℃に設定した場合はサーモの構造上温度調節ハンドルをH側全開にしても高温の湯は出ません。



温度調節  
温度調節を目盛に合わせる。数字は温度の目安としてご使用ください。ハンドルを手前にまわす → 温度が下がる  
ハンドルを奥にまわす → 温度が上がる

高温の使用  
安全ボタンを押してまわす。

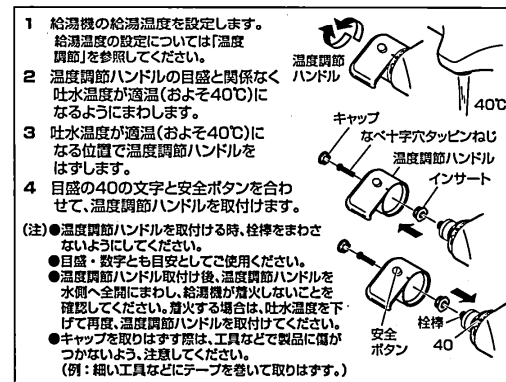
安全ボタン解除  
●安全ボタンを押さずに回すと器具を破損するおそれがあります。●高温の湯を使用した後は必ず、温度調節ハンドルを40以下に戻し、しばらく水を流してください。

(注) 水温の高い夏場で吐水量を少なくして使うと瞬間式給湯機の場合、着火しないことがあります。この場合には、水栓側のハンドルを全開に(吐水量を多く)するが、給湯器の温度設定を下げてください。



ご使用について(ご使用前) 温度調節ハンドルの設定

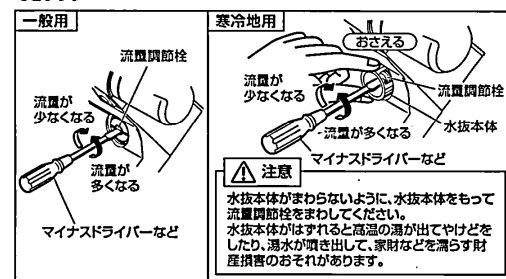
温度調節は工場出荷前に調整済ですが、取付現場の圧力、給湯温度などの条件により目盛と異なる温度の混合水が出る事があります。このような場合は下記の設定を行ってください。



(注) ●温度調節ハンドルを付ける時、栓棒をまわさないようにしてください。●目盛、数字とも目安としてご使用ください。●温度調節ハンドル付け後、温度調節ハンドルを水側へ全開にまわし、給湯機が着火しないことを確認してください。着火する場合は、吐水温度を下げて再度、温度調節ハンドルを取付けてください。●キャップを取りはずす際は、工具などで製品に傷がつかないように、注意してください。(例: 細い工具などにテープを巻いて取りはずす。)

ご使用について 流量調節

ドライバーでまわす事により流量を調節したり、配管からの水を止める事ができます。



凍結予防について 一般用の場合

一般用でも凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓より少量の水を出してください。(目安として1分間に半リットル程度)
  - 配管などに保温材を巻いてください。
  - 室内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。

凍結予防について 寒冷地用の場合(水抜き方法)

寒冷地用は寒冷地において配管中の水を抜く設備(水抜栓)とあわせて使用する製品です。凍結のおそれがある場合は、下記の方法で水抜きをしてください。

